（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和５年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信州の水でつくられた電気による「CO_2フリーe スポーツシンポジウム」
事業主体 （連絡先）	一般社団法人長野県ｅスポーツ協会 （info@nagano-esport.org）
事業区分	（５）環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	5,760,000 円（うち支援金：　　4,608,000　円）

事 業 内 容

ｅスポーツを使って 2050 ゼロカーボンを PR することの意味は、持続可能な未来に向けた取り組みを幅広い層にアピールすることです。ｅスポーツは、年齢や地域を超えて多くの人々にアクセスすることができるメディアであり、このようなメッセージを伝える上で非常に効果的な手段になります。また、理解を深めるためには、多くの人々に知ってもらわなければなりません。ｅスポーツを活用することで、若い世代やｅスポーツファンに向けたアプローチが可能になります。ｅスポーツがもつコミュニケーションの力を生かし、若者とシニア層が一緒にｅスポーツの競技を楽しんだり、地域課題に取り組んだりすることで、地域社会の発展に貢献していきます。このようなアプローチによって、ゼロカーボンへの取り組みに対する理解と関心が高まり、また、ｅスポーツ競技を通じて、環境保護についての意識を高めることも目指しています。

【11/25 の様子】

【目標・ねらい】

① 若者へ 2050 ゼロカーボン周知
② 地域のｅスポーツ普及
③ シニア層へのアプローチ

事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

2050 ゼロカーボンの認知
松本地域での 2050 ゼロカーボンへの取組について認知増加：

より理解が深まった割合が
R5：R4＝６８％：３４％　前回と比べて２６%増加した

※自己評価【A】

【理由】
若者とシニア層が一緒にｅスポーツの競技を楽しんだり、地域課題に取り組みゼロカーボンへの認知度が飛躍的に増加した。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

この事業をきっかけに、ｅスポーツを通じて継続的に PR を行い、まず言葉だけでも覚えてもらえるように活動を続けていく。また、ｅスポーツがもつコミュニケーションの力を生かし、若者とシニア層が一緒にｅスポーツの競技を楽しんだり、地域課題に取り組んだりすることで、地域社会の発展に貢献していきます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある